

チームエッフェガーラ

津村 知明

レースレポート

2010年4月25日

SSクラス(参加6台)

IMPカートレース第2戦

CIRCUIT : 井頭モーターパーク

フレーム : birel RX31SE

エンジン : YAMAHA KT100SD

タイヤ : BS SL07

エンジニア: 加藤 真(レーシングサービス エッフェガーラ)

押しかけ: 月岡 雅隆(チーム エッフェガーラ)

◆レース結果

TT 3位 (30.778)

予選① 2位 (30.798)

予選② 2位 (30.612)

決勝 3位 (30.597)

◆シリーズランキング

2位 (32ポイント)

第2戦終了時点

レース前日

ここIMPでは川口選手が好調で、自分はイマイチ調子が出ない。ブッチ切られるレースが続いているので、何とか活路を見出したいがまさに万全尽きている。

前日は、伊沢選手が絶好調

続く川口選手はナラシ後のエンジンでブリブリ言わせながらもそこそこのタイム。

自分は、アレコレ試すも あんまり良くならない。

このままだと明日のレースは・・・ そんな心境で前日のサーキットを後にした。

カート走行後は、疲れきった心と身体を癒すため いつも温泉に行っている。湯船につかりながら 今日試した事のおさらいと明日のレース戦略を立てるのが定番になっているが、そこで想いを巡らせていると、時々良いアイデアが飛び出してくる。よし、明日のレースはこれで行こう!! 戦略がまとまったところで、最後は水風呂で絞めて風呂を出る。



IMP第2戦 4/25



温泉効果!?

何をやっても良くならない日が続いたが、ようやく糸口が見えた。昨日湯船の中でおぼろげに思いついた事をレース当日試してみると、これだ!! という感触あり。

長く苦労した日々を終止符が打てるかもしれない。TT、予選は、昨日に引き続き 伊沢選手が絶好調。自分は、TT3位、予選2位で決勝を迎える。

崖の下のポニョ??

決勝レースは波乱から始まる。スタート直後の2コーナーで山田選手が崖下に落ちこちるというハプニングが発生。レースは赤旗中断となるが、幸いにも身体とカートは無事。タベ飲んだ「ハイボール」がまだ抜けてなかったのか・・・ 10分のインターバルを経て、レースは仕切り直しとなる。再スタート後は、伊沢選手、川口選手、自分の順にトップグループが形成される。3台ともタイム差はほとんど無く、緊迫した接近戦。レース中盤、奥の細道コーナーで川口選手が伊沢選手を抜きトップに立ったが3台によるランデヴー走行は依然変わらず。自分も時々エイヤで抜けそうな場面に遭遇するが より確実な場面到来を待つ。久しぶりにIMPでレースができてる気がした。

膠着した状態のまま、ファイナルラップを向かえ 結局そのままチェッカー。最後まで仕掛けられなかった事はまことに残念だったが、確かな手ごたえを感じたレースだったと思います。

レースを終えて

マシンの状態が良くなり、レースできるところまで来られた事が何よりの収穫でした。あとは、レースを有利に進める強さを磨けば 残り4戦でチャンピオン争いはひっくり返せます。今回も、応援して頂いた方々 どうもありがとうございます。次週(5/2)の『ツインリンク茂木』も頑張ります!!